

令和4年  
8月19日  
R04-06号

# 組合ニュース

山形市青田南6-18  
山形建設労働組合  
発行人 三井寺浩樹  
電話 633-1928  
FAX 633-4090

## 山形建設労働組合共済について

山形建設労働組合共済は、加入している組合員全員の相互扶助を目的とした制度です。申請は組合事務所で受付けています。なお、申請手続きには必要書類等がございますので組合までお問合せください。

(受給資格は組合加入後、翌々月1日から発生します。請求の時効は事由発生より3年です。)

平成29年1月1日施行 [注4]

共済給付の種目		山形建労共済		合計	
		組合共済	慶弔共済5型		
死亡弔慰金	組合員	病気等	700,000円	300,000円	1,000,000円
		不慮の事故等	600,000円	400,000円	1,000,000円
		交通事故	600,000円	400,000円	1,000,000円
	配偶者		200,000円	200,000円	
	子 [注1]		100,000円	100,000円	
	親 [注3]		30,000円	30,000円	
	配偶者	50,000円		50,000円	
	子・親・祖父母・孫	30,000円		30,000円	
見舞金 重度障害	組合員	病気等	700,000円	300,000円	1,000,000円
		不慮の事故等	700,000円	300,000円	1,000,000円
		交通事故	700,000円	300,000円	1,000,000円
[注2] 傷病見舞金	組合員	休業10日以上	5,000円		5,000円
		休業20日以上	6,000円		6,000円
		休業30日以上	7,000円		7,000円
		休業40日以上	8,000円		8,000円
		休業50日以上	9,000円		9,000円
		休業60日以上	10,000円		10,000円
		休業70日以上	12,000円		12,000円
		休業80日以上	14,000円		14,000円
		休業90日以上	17,000円		17,000円
祝金	組合員	結婚祝金	30,000円		30,000円
		出生祝金	30,000円		30,000円

[注1] 「子の死亡」には、「組合員の実子・養子・継子およびこれらの配偶者の死亡」も含まれます。

[注2] 労働者災害補償保険法施行規則別表1「障害等級表」

[注3] 組合員および組合員の配偶者の親

[注4] 現行の山形建設労働組合共済は平成29年1月1日施行です。それより前の事由は旧制度が適用されます

## 第30回青年技能競技大会【山形県大会】

### 小林貴洋選手が銀賞に輝く！

7月31日けんせつプラザ山形に於いて、山形県連青協 第30回青年技能競技大会が開催されました。山形建労青年部から選手として、小林貴洋さん、小室凱暉さん、佐藤弘祐さんの3名が出場しました。小林さんは見事銀賞に入賞し、9月17～19日に群馬県で開催される全国大会へ山形県の代表として出場します。



#### 入賞者

金賞 関根清人 さん(米沢)

銀賞 小林貴洋 さん(山形)

#### 小林 貴洋 選手【飯野建築株式会社】8中西山形小3分会

今年は山建労から私の他にも2名の選出が出場してくれたことが嬉しいです。私も県内出場選手の中で一番年上になりました。競技人口が減る一方で、山建労で2人が後継として成長し、心強く感じております。昨年はコロナで全国大会の出場を辞退しましたが、今年は出場いたします。支援してくださる組合の方、青年部、2名の後輩に恥ずかしくない戦いをしてきますので応援よろしくをお願いします。

#### 小室 凱暉 選手【飯野建築株式会社】8中西山形小3分会

今年は久しぶりの出場でした。練習も仕事等の都合で中々参加できず、少し不安でしたが、時間内に課題を完成することができ安堵しております。来年も、ぜひ出場したいと思えます。

#### 佐藤 弘祐 選手【株菊池技建】4中鈴川7分会

今年で2回目の出場です。時間内に課題を完成することができてよかったです。来年はより精度を上げ、上位目指して頑張りたいと思えます。

#### 鈴木 淳史 青年部長

選手のみなさん、3か月の練習及び大会お疲れ様でした。そして小林さん銀賞おめでとうございます。日頃の練習で3選手がそれぞれ課題に取り組む姿勢は、青年部の部長として誇らしく感じております。今年、小林さんは全国大会に出場するということですので、ぜひ上位を目指してもらいたいと思えます。大いに期待しています。

～技能競技大会とは～

36歳以下の若手職人の技能・技術力を争う競技です。選手は課題の『四方転び踏み台』を6時間(競技時間)内に、原寸図(2枚)の作成、部材の木削り→墨付け→加工仕上げ→組立てを行い、より正確な作品を制作します。採点は規定に基づき厳正に審査され順位が決まります。